

当社は、昭和32年（1957）に一代交配白イボキュウリ「ときわ」を育成し、全国の皆様にご愛顧いただいてまいりました。

近年農業を取り巻く環境が大きく変化していく中で、“種子は農を育てる、農は生活を育む”という基本に立ち返り、より迅速に、収量性・品質・耐病性はもちろん特異性など幅広いお客様のニーズにお応えできる品種の育成を進めて参ります。

更に品質管理を強固にし、種子検査を始め種子の安全・安心に努め、より高い信頼が得られるように日々益々精進を重ねて参りますので、今後とも倍旧のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社 ときわ研究場
355-0167　埼玉県比企郡吉見町田甲 1087 番地
電話 0493-54-1155
FAX 0493-54-1332
http://tokiwa-cucumber.com/
代表取締役社長　小田篤

主要取引銀行
埼玉りそな銀行　東松山支店　三菱 UFJ 銀行　東松山支店　ゆうちょ銀行

●東北営業所　岩手県北上市成田 22-200-1 …… TEL. 0197-68-2840
●福島営業所　福島県須賀川市西川町 104…… TEL. 0248-75-1594
●宮崎営業所　宮崎県宮崎市佐土原町下田島 20296-85 …… TEL. 0985-73-3437

一般社団法人 日本種苗協会®　2023.12

プロフェッショナル カタログ

種子から始まる安全・安心　信頼の品種

株式会社 ときわ研究場

“作る”を感動に変える

おいしさを届けて65年

キュウリ専門育種－ときわきゅうり

目次

ハウス主要品種……1〜8

露地主要品種……9〜13

家庭菜園用品種……14〜16

台木品種……17

夏の高温環境でも安定した果形、ハウス抑制いちおし品種

ときわ交配

秋華（しゅうか）



耐病性 褐斑病

耐病性 ウドンコ病

ハウス栽培

加温	無加温

おすすめ播種期：6月〜8月まき

定植期 ●— 収穫期 ▬

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
寒冷地							●	●	▬	▬	▬	
中間地							●	●	▬	▬	▬	▬
暖地	▬							●	●	▬	▬	▬

特性

- 高温下での奇形果の発生は極めて少なく、安定した果形となる。
- ウドンコ病、褐斑病に強く、ベト病にも比較的強いため、薬剤散布が軽減でき、栽培後半まで安定した栽培が行える。
- 草勢は中、側枝、孫枝とも安定して発生する。果実肥大は早く、初期から多収となり、樹ボケの心配は少ない。また高温下においても順調に果実肥大し、尻細果の発生は少ない。
- 主枝雌花着果率は、７月播種で50〜70％、各節１〜２果成りが主体となる。
- 果実は21〜23㎝で、果色は濃緑、肩こけ少なく秀品率高い。
- 葉は濃緑で中葉、受光態勢の良い草姿となり、管理作業が行いやすい。

栽培のポイント

◉台木は「ぞっこん」、「ときわＧＴ－Ⅱ」が適する。

◉果実肥大が早いため、灌水は多めにおこない、追肥は遅れないようにする。

◉追肥は遅れると不良果実発生の原因となるので、収穫量に応じて増やしていく。

◉収穫中期以降でも草勢が強く側枝の動きが強いようであれば過繁茂にならないように適宜摘芯していく。

安定した草勢と果形で初期より多収！いちおし品種

ときわ交配

緑華（みどりのはな）



耐病性 褐斑病

耐病性 ウドンコ病

ハウス栽培	
加温	無加温

おすすめ播種期	12月～9月まき

定植期 ●― 収穫期 ―

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
寒冷地	●―		●―	―	―	―	―	―	―	―		
中間地	●―		――	―	―	―	―	―	―	●―	―	―
暖地	――		――	―	―	―	―	―	●―	―	――	

特性

- ウドンコ病、褐斑病に強く、ベト病にも比較的強いため、薬剤散布が軽減でき、栽培後半まで安定した栽培が行える。
- 草勢は中、子枝、孫枝は安定して発生する。
- 果実肥大は早く、初期から多収となり、樹ボケの心配は少ない。また収穫期後半においても順調に果実肥大し、尻細果の発生は少ない。
- 主枝雌花着果率は、12月播種で100%、9月播種で80～100%、各節１～２果成りが主体となる。
- 果実は21～23㎝で、果色は極濃緑、肩こけ少なく秀品率高い。
- 葉は濃緑で中葉、受光態勢の良い草姿となり、管理作業が行いやすい。

栽培のポイント

◉台木は、「ぞっこん」「ときわＧＴ－Ⅱ」が適する。

◉果実肥大が早いため、樹作りが大切。こまめな潅水を行うとともに追肥も積極的に行う。

◉節成り性品種のため主枝雌花着果位置は地際から10節以上とし、初期の樹作りを行う。

◉２～３本仕立ての場合、力枝は下段から伸ばさず、中段（９～10節）付近より確保する。

強い草勢と低温果実肥大力のある省エネ品種！

ときわ交配

ポイント



耐病性 褐斑病

耐病性 ウドンコ病

ハウス栽培	加温	無加温

おすすめ播種期	9月～3月まき

◉主枝雌花着果率は12月播種で60～70%、各節１～２果成りが主体となる。
◉果長は、21～23㎝、果色は極濃緑、果形はバツグン！

定植期 ●― 収穫期 ―

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
寒冷地	●―		●―	―	―	―	―	―	―	―		
中間地	●―		――	―	―	―	―	―	―	●―	―	―
暖地	――		――	―	―	―	―	―	●―	―	――	

低温伸長性と果実肥大力のある省エネ品種！

ときわ交配

フェイス



耐病性 褐斑病

褐斑病 ウドンコ病

ハウス栽培	加温	無加温

おすすめ播種期	9月～3月まき

◉主枝雌花着果率は11月播種で20～30%、各節１～２果成りが主体となる。
◉果長は、21～22㎝、果色は濃緑

定植期 ●― 収穫期 ―

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
寒冷地		●―	―	―	―	―	―					
中間地	――		――	―	―	―	―			●―	―	―
暖地	――		――	―	―	―	―			●―	――	

耐病性節成りキュウリ

ときわ交配 耐病 光華（こうか）



耐病性 褐斑病
耐病性 ウドンコ病
ハウス栽培 | 加温 | 無加温

おすすめ播種期：2月～7月まき／1月～9月まき

◉主枝雌花着果率は7月播種で80～100%、各節１～２果成りが主体となる。
◉果長は、22～23㎝、果色は極濃緑

定植期 ●― 収穫期 ―

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
寒冷地		●	―	―	―	―	―	―	―	―		
中間地		●	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―
暖地	―	―	―	―	―	―	―	―	●	―	―	―

雨よけ栽培に最適、果形安定性に優れる複合耐病性品種！

ときわ交配 いろどりの夏



耐病性 褐斑病
耐病性 ウドンコ病
ハウス栽培 | 加温 | 無加温

おすすめ播種期：7月～8月まき /2月～7月まき

◉主枝雌花着果率は7月播種で50～70%、各節１～２果成りが主体となる。
◉果長は、21～23㎝、果色は極濃緑

定植期 ●― 収穫期 ―

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
寒冷地				●	―	―	―	―	―	―		
中間地			●	―	―	―	―	●	―	―	―	―
暖地				―	―	―	―		●	―	―	―

つる下げ栽培で長期穫りに対応、収量性・果形の安定性に優れる

ときわ交配 レーヴ



耐病性 褐斑病
耐病性 ウドンコ病
ハウス栽培 | 加温

おすすめ播種期：9月～10月まき（暖地）

◉主枝雌花着果率は9月播種で50～60%、各節１～２果成りが主体となる。
◉果長は、21～23㎝、果色は極濃緑

定植期 ●― 収穫期 ―

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
寒冷地		●	―	―	―	―	―	―	―	―		
中間地	●	―	―	―	―	―	―	●	―	―	―	―
暖地	―	―	―	―	―	―	―	―	●	―	―	―

強い耐病性！　おいしい！　早くから良く穫れる！

ときわ交配 G（グリーン）・フラッシュ



耐病性 褐斑病
耐病性 ウドンコ病
ハウス栽培 | 加温

おすすめ播種期：8～9月まき／10月～2月まき（つる下げ・摘芯栽培どちらも可）

◉主枝雌花着果率は9月播種で30～40%、11月播種で60%程度、各節1～2果成りが主体となる。
◉果長は、22㎝程度で果色は濃緑

定植期 ●― 収穫期 ―

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
寒冷地		●	―	―	―	―	―	―	―	―		
中間地		●	―	―	―	―	―		●	―	―	―
暖地	―	―	―	―	―	―	―		●	―	―	―

複合耐病性、収量性、果形安定性に優れる！

ときわ交配 リスペクト



耐病性 褐斑病

耐病性 ウドンコ病

ハウス栽培 | 加温 | 無加温

おすすめ播種期：7月下旬～4月まき

◉主枝雌花着果率は7月播種で20～30%、8月播種で30～40%、12月播種で60～70%、各節１～２果成りが主体となる。
◉果長は、22～23㎝、果色は濃緑

定植期 収穫期

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
寒冷地												
中間地												
暖地												

冬春穫りキュウリ、耐病性の決定版、果形の良さに優れる

ときわ交配 ディソール



耐病性 褐斑病

耐病性 ウドンコ病

ハウス栽培 | 加温 | 無加温

おすすめ播種期：9月～3月まき

◉主枝雌花着果率は9月播種20～40%、11月播種で60～70%程度、各節1果成りが主体となる
◉果長は、21㎝程度で果色は極濃緑

定植期 収穫期

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
寒冷地												
中間地												
暖地												

病気に強く、果焼け少なく、安定した果形と収量性で作り易い！

ときわ交配 アドミラル



耐病性 褐斑病

耐病性 ウドンコ病

ハウス栽培 | 加温 | 無加温

おすすめ播種期：1月～9月まき

◉主枝雌花着果率は11月播種で60～70%程度、9月播種で30～40%、各節1果成りが主体となる。
◉果長は、22～23㎝で果色は濃緑

定植期 収穫期

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
寒冷地												
中間地												
暖地												

病気に強く、樹の持ちが良く、最後まであおあおとした草姿で、収量性にも優れる

ときわ交配 クラージュ２



耐病性 褐斑病

耐病性 ウドンコ病

ハウス栽培 | 加温 | 無加温

おすすめ播種期：3月～8月まき

◉主枝雌花着果率は4月播種で50～70%、8月播種で30～50%、各節1果成りが主体となる。
◉果長は、22～23㎝で果色は濃緑

定植期 収穫期

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
寒冷地												
中間地												
暖地												

ハウスキュウリ品種

ときわ交配 耐病性 ウドンコ病
アドニス
おすすめ播種期 9月～3月まき

ときわ交配 耐病性 褐斑病 耐病性 ウドンコ病
アドニスK
おすすめ播種期 9月～3月まき

ときわ交配 耐病性 褐斑病 耐病性 ウドンコ病
クラージュ
おすすめ播種期 1月～4月、7月～9月まき

ときわ交配 耐病性 褐斑病 耐病性 ウドンコ病
カレント
おすすめ播種期 9月～2月まき

ときわ交配 耐病性 褐斑病 耐病性 ウドンコ病
ワントップ
おすすめ播種期 6月～8月、2月～5月まき

ときわ交配 耐病性 褐斑病 耐病性 ウドンコ病
コレクト
おすすめ播種期 3月～8月まき

ときわ交配 耐病性 褐斑病 耐病性 ウドンコ病
アグニ
おすすめ播種期 1月～4月まき

ときわ交配 耐病性 ウドンコ病
モア
おすすめ播種期 1月～4月、6月下旬～8月中旬まき

ときわ交配 耐病性 ウドンコ病
ボルタ
おすすめ播種期 9月～12月まき

ときわ交配
ズバリ163
おすすめ播種期 12月～4月、7月～10月まき

ときわ交配
グランツ
おすすめ播種期 12月～4月、7月～10月まき

ときわ交配
プロジェクトX
おすすめ播種期 9月～8月まき

ときわ交配
モンドール
おすすめ播種期 8月下旬～3月まき

ときわ交配
エテルノ
おすすめ播種期 9月～3月まき

ときわ交配
アンコール10
おすすめ播種期 12月下旬～5月下旬、7月上旬～9月中旬まき

ときわ交配
インパクト
おすすめ播種期 1月上旬～6月下旬、7月下旬～8月下旬まき

ときわ交配
ときわ888
おすすめ播種期 9月上旬～3月下旬まき

ときわ交配
インスパイヤー
おすすめ播種期 9月～10月まき

ときわ交配 耐病性 ウイルス病［ZYMV］
アイリス
おすすめ播種期 3月～7月まき

ときわ交配
オペラ
おすすめ播種期 3月～4月中旬、6月中旬～7月中旬まき

ときわ交配
プロスパー2
おすすめ播種期 11月～4月まき

草勢と果実肥大のバランス良く初期より高い
収量性と安定した果形で高成績を実現露地いちおし品種

ときわ交配

なついろ



耐病性 ウドンコ病
耐病性 褐斑病
耐病性 ウィルス病［ZYMV］

普通～抑制露地栽培

おすすめ播種期 4月～8月上旬播き 普通～抑制露地栽培

定植期 ●― 収穫期 ―

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
寒冷地					●	―	―					
中間地					●	―	―					
暖地					●	―	―					

特性

- 耐病性　ウドンコ病、カッパン病、ウィルス病（ZYMV）に耐病性があり、ベト病にも比較的強い。栽培後半まで樹が維持しやすく安定した栽培が行える。
- 草姿　葉色はやや淡緑色の中葉、草勢は強く、側枝、孫枝ともによく発生する。節間長は中位で間伸びしにくい。
- 雌花着生　主枝雌花着果率は、４月～５月播きで55～65％前後、６月～７月播きで30～40％前後。側枝は、２節連続着果率が高い。各節１～２果成りとなる。
- 果実　果長は主枝で20～21cm、側枝は21～22cm。低温期でも果形は肩こけ少なく安定した果形となる。果色は鮮緑色でテリがある。
- 収量性　草勢と果実肥大のバランスが良く、最後まで安定した収量となり、多収を望むことができる。

栽培のポイント

◉子枝は1～2節止めとし、孫枝以降から半放任とする。主枝雌花開花が始まる頃より積極的に潅水を行う。また収穫始め頃より追肥を始め、その後も遅れないように行う。

◉果実肥大が早く、初期より収量性が高いため、元肥はやや多めに施す。

◉台木は、「ぞっこん」「ときわGT-Ⅱ」が適する。

◉孫枝が発生する頃より生長点に光が当たるように適宜摘葉を行う。

すべては夏の中に、すべては緑の中に、すべては太陽の中にある「夏もよう」！

ときわ交配

夏もよう



耐病性 褐斑病

耐病性 ウドンコ病

耐病性 ウイルス病［ZYMV］

普通～抑制露地栽培

おすすめ播種期	4月～8月上旬まき

定植期 収穫期

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
寒冷地						●	―	●	―	―		
中間地					●	―	―	●	―	―	―	
暖地					●	―	―	●	―	―	―	

特性

- 主枝雌花着果率は、4月～5月まきで50～60％、6月～7月まきで30～40％となる。何れの播種期でも側枝は連続着果率が高く各節１果成りが中心である。
- カッパン病、ウドンコ病、ウィルス病（ZYMV）に強く、栽培後半まで草勢維持しやすく作り易い。
- 草勢が安定し、果実肥大が良いので最後まで高い収量を望むことができる。
- 果実は主枝で20～21㎝、側枝は21～22㎝程度、肩こけ少なく鮮緑色である。
- 葉色は緑色で中葉、草勢は中位で、子枝・孫枝ともによく発生する。節間は間伸びしにくい。

栽培のポイント

- 整枝方法は、基本的に子枝を1～2節止めとし孫枝以降から半放任とする。主枝雌花開花が始まる頃より積極的に潅水を行う。また収穫始め頃より追肥を始め、その後も遅れないように行う。
- 力枝を出す場合は下段から伸ばさず中段（13～15節）付近より確保する。
- 果実肥大が早く、初期より収量性が高いため元肥はやや多めに施す。
- 台木は、「ぞっこん」「ときわGT-Ⅱ」が適する。
- 低温期は節間が詰まり易い為下枝・雌花は、50㎝の高さまで除去する。

複合耐病性と高品質多収性を兼ね備えた品種

ときわ交配

艶香（えんか）



耐病性 褐斑病

耐病性 ウドンコ病

耐病性 ウイルス病［ZYMV］

露地栽培

おすすめ播種期	暖　地：4月～7月まき 寒冷地：5月～7月まき

- 主枝雌花着果率は、暖地の４月播種と寒冷地の５月播種で50％程度、各節1～2果成りが主体となる。
- 果長は、21～22㎝で果色は極濃緑

定植期 収穫期

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
寒冷地						●	―	●	―	―		
中間地					●	―	―	●	―	―	―	
暖地					●	―	―	●	―	―	―	

強い耐病性を持ち、最後まで作り易い新品種！

ときわ交配

艶香（えんか）831



耐病性 褐斑病

耐病性 ウドンコ病

耐病性 ウイルス病［ZYMV］

露地栽培

おすすめ播種期	4月～7月まき

- 主枝雌花着果率は4月播種で50％程度、各節１～２果成りが主体となる。
- 果長は、21～23㎝程度で果色は極濃緑

定植期 収穫期

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
寒冷地						●	―	●	―	―		
中間地					●	―	―	●	―	―	―	
暖地					●	―	―	●	―	―	―	

スッキリした草姿で通風採光性に優れ、高品質・安定多収

ときわ交配 光のしずく



耐病性 ウドンコ病
耐病性 ウイルス病［ZYMV］
露地栽培

おすすめ播種期	3月上旬～8月中旬まき

◉主枝雌花着果率は３～４月播種で50～60%、５～６月播種で30～40%、７～８月播種で20～30%、各節1果成りが主体となる。
◉果長は、21㎝程度で果色は鮮緑色

定植期 収穫期

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
寒冷地												
中間地												
暖地												

強い耐病性品種で長期安定多収

ときわ交配 大望Ⅰ



耐病性 ウドンコ病
耐病性 ウイルス病［ZYMV］
露地栽培

おすすめ播種期	4月下旬～8月中旬まき

◉主枝雌花着果率は５～６月播種で40～50%、７～８月播種で20～30%、各節1果成りが主体となる。
◉果長は、21～22㎝程度で果色は濃緑

定植期 収穫期

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
寒冷地												
中間地												
暖地												

ときわ交配 光の季（ときめき）

耐病性 ウドンコ病
耐病性 ウイルス病［ZYMV］
露地栽培
おすすめ播種期 4月上旬～8月中旬まき

ときわ交配 光望

耐病性 ウドンコ病
耐病性 ウイルス病［ZYMV］
露地栽培
おすすめ播種期 4月上旬～8月中旬まき

ときわ交配 光耀

耐病性 ウドンコ病
耐病性 ウイルス病［ZYMV］
露地栽培
おすすめ播種期 4月上旬～8月中旬まき

ときわ交配 ときわ333

耐病性 ウドンコ病
露地栽培
おすすめ播種期 3月上旬～8月中旬まき

ときわ交配 パイロット

露地栽培
おすすめ播種期 2月下旬～8月中旬まき

ときわ交配 光琳

露地栽培
おすすめ播種期 3月上旬～6月下旬まき

ときわ交配 パイロット103

露地栽培
おすすめ播種期 2月下旬～8月中旬まき

ときわ交配 南極1号

露地栽培
おすすめ播種期 2月下旬～8月下旬まき

ときわ交配 新北星

露地栽培
おすすめ播種期 3月上旬～8月上旬まき

ときわ交配 金星

耐病性 ウドンコ病
露地栽培
おすすめ播種期 3月中旬～8月上旬まき

作ってみて！ 食べてみて！ 病気に強い健康キュウリ！
すばらしい果実が面白いほど穫れる！

ときわ交配 ときわ光明

耐病性 ウドンコ病
耐病性 ウイルス病［ZYMV］
露地栽培
おすすめ播種期 4月～8月まき
◉10～50粒（10粒単位）100粒

定植期 収穫期

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
寒冷地												
中間地												
暖地												



家庭菜園はもちろん直売所販売にもピッタリ、生食でも加工してもOK！

ときわ交配 ときわ四葉（すうよう） 純（じゅん）/粋（いき）

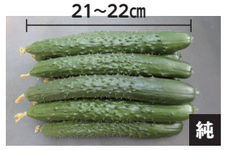
耐病性 ウドンコ病
耐病性 褐斑病
普通～抑制露地・雨よけ栽培
おすすめ播種期 4月～8月上旬まき
◉10～50粒（10粒単位）100粒

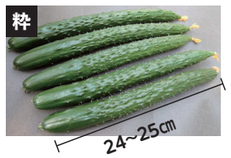
定植期 収穫期

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
寒冷地												
中間地												
暖地												

純

粋





甘味の強いおいしいミニキュウリがベランダやバルコニーで簡単に育てられます

ときわ交配 ベランダきゅうり

耐病性 ウドンコ病
鉢栽培専用
おすすめ播種期 4月～7月まき
◉10～50粒（10粒単位）100粒

定植期 収穫期

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
寒冷地												
中間地												
暖地												



キュウリ独特のシャキッとした歯触りと、軟らかな肉質をあわせ持っています。
漬物用に最適ですが、生食でもおいしいキュウリ！

ときわ交配 漬丸くん

収穫サイズもお好みで!!

仕立て・地這い栽培
おすすめ播種期 4月～6月まき（関東標準）
◉20粒詰

定植期 収穫期

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
寒冷地												
中間地												
暖地												



病気に強い、多収キュウリ!

ときわ交配 大望キュウリ

耐病性 ウドンコ病
耐病性 ウイルス病［ZYMV］
露地栽培
おすすめ播種期 4月下旬～8月中旬まき
◉10～50粒（10粒単位）・100粒

珍しい鶯色の果実

ときわ交配 うぐいすキュウリ

ハウス・露地
おすすめ播種期 3月～8月中旬まき
◉10～50粒（10粒単位）・100粒

食感は四葉、果実は珍しい鶯色

ときわ交配 うぐいす四葉

露地栽培
おすすめ播種期 4月～7月まき
◉10～50粒（10粒単位）・100粒

そのまま食べても、浅漬でもおいしい

ときわ交配 プチット

耐病性 ウドンコ病
ハウス・露地
おすすめ播種期 1月～8月中旬まき
◉10～50粒（10粒単位）・100粒

★耐病性品種 ロングセラー！ 小袋用品種

	品種名	粒数	作型	特性
★	ときわの光	20粒	露地全作型	ウドンコ病に強く作りやすい
	新北星キュウリ	10・20・30・40・50・100粒	〃	甘みと歯切れの良さ抜群
	南極1号キュウリ	〃	〃	全国露地完全制覇の実績を持つ露地キュウリの代表品種
★	大吉	20粒	〃	ウドンコ病に強く作りやすい
★	新ときわ地這いキュウリ	40粒・100粒	〃	地這いからネット栽培まで作り易い
	月光	10・20・30・40・50・100粒	〃	品質、食味最高
★	耐病あけぼの	〃	ハウス栽培（加温・無加温）	ウドンコ病・褐斑病耐病性で病気に強い
	あけぼの	〃	ハウス栽培（加温・無加温）	簡易ハウスに最適

大袋販売用種子

	キュウリ				
★	ときわ光明	ウドンコ病・ZYMV耐病性 露地栽培用品種	1dℓ（約2,000粒）	5dℓ（約10,000粒）	1ℓ（約20,000粒）
	南極	高品質多収露地栽培用品種	〃	〃	〃
	新北星	おいしいキュウリ露地栽培用品種	〃	〃	〃
	新ときわ地這いキュウリ	地這い・露地栽培用品種	〃	〃	〃
★	ときわの光	ウドンコ病に強い露地栽培用品種	〃	〃	〃

台木カボチャ				
太鼓判	ブルームレス台木	1dℓ（約350～400粒）	5dℓ（約1,750～2,000粒）	1ℓ（約3,500～4,000粒）
ときわ新土佐（白ダネ）	ブルーム台木	2dℓ（約300粒）		

※返品は一切お断りします。 ※この種子の発芽率の有効期限は表示月より1年です。
※大量のお取引については、価格の御相談に応じます。 ※品切れの際はご容赦下さい。

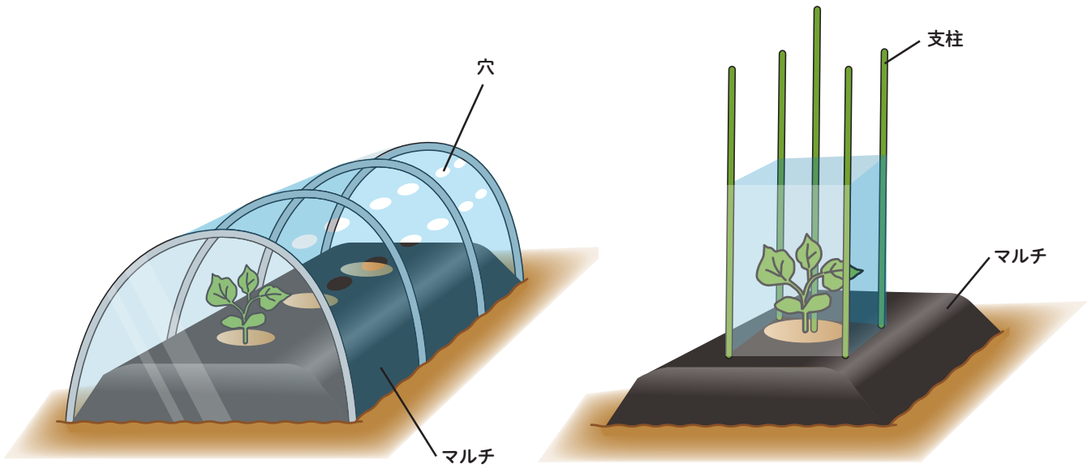
家庭菜園キュウリ栽培のポイント

土作り 良質堆肥を施こし、通気性と排水性の良い状態で、根を深く広く張らせる。

元肥 作型・地域により多少異なるが目安として成分量で10㎡当たり窒素200～300g、リン酸200～300g、カリ200～250g施す。

マルチ マルチは、地温確保、土壌水分確保、防草等の目的に合わせて選んで行う。またマルチをする際は雨天後で土が湿った状態で行うと良い。

●寒い時期は、穴開トンネル被覆資材を使うか、風よけ等を利用し（防風・防寒・保湿）早く根付かせる。

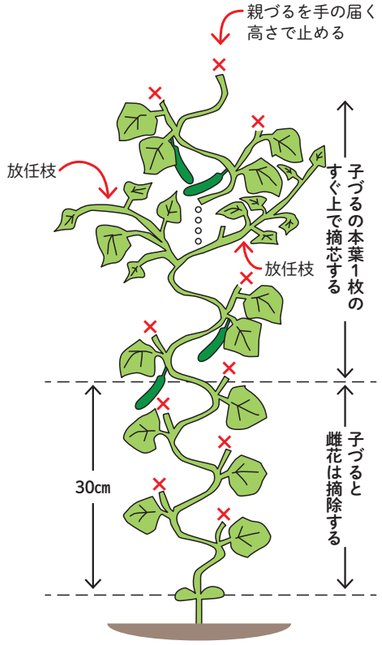


植え付け

- 苗は、接ぎ木苗と自根苗（接ぎ木せず自身の根を使う）があり、どちらでもできるが、接木苗は台木用カボチャを使うことで土壌病害に強く、草勢が維持しやすくなる。
- 株間は、60cm～70cm位とする。
- 植え付け苗は、９cmポットの大きさならば、本葉３～４葉頃で、根が鉢の中で十分に張っているものが良い
- 植え付けは、鉢中心部に水が十分に浸みている状態で、植え穴にも十分に潅水をしてから行う。
- 植え付けするときは、極力深植えにならないようにする（接木苗の場合は、接木部分が埋まらないように行う）。
- 植え付け後は、速やかに株元潅水を行い、根付かせるまでは、鉢周りを乾燥させないようにこまめに潅水を行う。高温時期は、地温が上がり過ぎたり乾き過ぎないよう株元付近にワラ等を敷く。

※雌花の付け方と下枝の整理について（右図）
定植後は地際から高さ30cmまでの親づるには、子づる（わき芽）や雌花（肥大が始まる前に取り除く）を付けない。30cm以上の高さから雌花を付けて収穫する。子枝は１～２節止めとし、中段の子枝は芯を止めずに放任する枝を２～３本程度伸ばす。
※苗はお近くの種苗店でお買い求めください。

長く穫る作り方



ときわのブルームレス台木シリーズ　絵袋詰 350粒

全ての作型で、最初から最後まで安定した草勢と高い収量性

ときわ交配 ぞっこん

耐病性 ウドンコ病
ブルームレス台木
周年まき

◉全ての作型で、最初から最後まで安定した草勢と高い収量性

特性

- 種子の大きさは中位、子葉は濃緑で発芽揃いは良い。根は太くて根量も多く、広い範囲に深く張るため苗はしっかりとした姿となる。
- 胚軸が太いため、接ぎ木し易い。
- 「呼び接ぎ」「断根挿し接ぎ」どちらでも優れた発根力を発揮して、栽培後半まで安定的に草勢を維持、最後まで収量性・秀品率が高くなる。
- 地上部の生育は、徒長しにくくガッチリとした草姿となる。
- 栽培後半は、草勢が維持しやすく、特に長期栽培において安定した収量を確保できる。
- ウドンコ病耐病性を持つ為、栽培初期のウドンコ病の発生を抑えることができる。

栽培のポイント

◉発芽時に胚軸を伸ばすような管理をして下さい。



ときわ交配 ときわGT-Ⅱ

耐病性 ウドンコ病
ブルームレス台木
周年まき

抜群の発根力で、草勢維持と収量性アップ！

生育初期の発根力に優れ活着がスムーズとなり、地上部の生育や収穫始めは早い。深くまで根が張り、かつ働きも良く、天候不順等の環境変化に対応でき、安定した草勢を維持できる。

ときわ交配 ときわパワーZ2

耐病性 ウドンコ病
ブルームレス台木
周年まき

全国に普及、強力ブルームレス台木！

発芽揃い良く、接ぎ木し易く、いずれの品種とも親和性最高、成苗率抜群。強い草勢ながら果実肥大に優れ、初期から多収、後半まで安定した高い生産量となる。

	低温伸張性	草勢	収穫始め	ウドンコ病耐病性	ブルーム
ぞっこん	特良	強	普通	○	なし
ときわ GT-Ⅱ	良	強	普通	○	なし
ときわパワー Z2	良	中強	早い	○	なし